

情報〈情報〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
オフィス情報処理 2			11513	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
米田 里香	選択	2				

授業の到達目標

ビジネス実務に必要とされる基本的なデータ処理能力を養成することを目標とする。このクラスではKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）を養う。

授業の概要

情報リテラシー2で学習したことを元にさらに応用的なデータ処理を学習する。学習の動機付けとして、日商PC検定3級（データ活用）の取得を目指す。

授業計画

- 1 エクセルの基本操作確認
- 2 四則演算復習
- 3 関数練習
- 4 関数練習
- 5 集計について
- 6 集計について
- 7 まとめ
- 8 日商PC検定3級データ活用対策
- 9 日商PC検定3級データ活用対策
- 10 日商PC検定3級データ活用対策
- 11 日商PC検定3級データ活用対策
- 12 日商PC検定3級データ活用対策
- 13 日商PC検定3級データ活用対策
- 14 日商PC検定3級データ活用対策
- 15 確認演習

授業の方法

日商PC検定3級（データ活用）の合格を目指し、実技対策と知識対策をしていく。

準備学修

Webを参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席が5回を超えた場合は不合格とする。

テキスト

日商PC検定試験データ活用3級公式テキスト&問題集（ver2019対応） FOM出版
オフィス情報処理1で購入したテキストを引き続き使用する。

留意事項

情報リテラシー2を受講していること。テキストは必ず持参すること。

外国語〈外国語〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
英語 1			11601	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
釜須 久夫	選択	1				

授業の到達目標

将来、保育士を目指す学生に必要とされる語彙と知識を学習する。保育の現場で役立つ表現と語彙に取り組みながら、読む、書く、話す、聞く、の4技能の実用能力の向上も図る。このクラスではKAISEIパーソナリティのIn（国際性）を養う。

授業の概要

テキストに沿って、様々なシーンを一回1ユニットずつ授業を進める。毎回キーワードの小テストを実施し、確実に語彙を増やしていく。

授業計画

- 1 Pre-unit Please Speak More Slowly
- 2 UNIT 1 Hi, I'm Yuri Tanaka
- 3 UNIT 2 Where Is the Multi-purpose Room ?
- 4 UNIT 3 Good Morning. How Are You Today ?
- 5 UNIT 4 What Color Do You Like ?
- 6 UNIT 5 There's a Ladybug on the Leaf
- 7 UNIT 6 It's Time to Play Outside
- 8 UNIT 7 She Is Allergic to Eggs
- 9 UNIT 8 You Should Go to the Bathroom
- 10 UNIT 9 We Made Masks Today
- 11 UNIT 10 If It Rains, What Happens ?
- 12 UNIT 11 What Shall We Do Today ?
- 13 UNIT 12 I Feel Feverish
- 14 UNIT 13 This Is Yuri from Cosmos Day Care Center
- 15 UNIT 14 Thank You Very Much for Everything & 試験

授業の方法

テキストに沿って毎回1ユニットずつ進めていく。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席は成績評価に反映する。

テキスト

Happy English for Childcare 土屋麻衣子著 金星堂

留意事項

必要に応じて、授業中に指示を行う。

基幹科目〈観光〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
国際観光交流論			13427	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
一尾 敏正	選択	2	ホテル経営			

授業の到達目標

GDP（国内総生産）の中で観光分野は大きなシェアを占めている。それは雇用の面でも同様である。観光は経済的な側面だけでなく国際交流の一面を持つ。世界の人々が国境を越えて互いに交流することは相互理解の促進に寄与する。この交流こそが平和への道筋である。お互いを理解し、認め合うことが、観光を通じて達成されるものと確信する。この授業の到達目標は、国際交流が観光を通してどの様に形成されたのか、今後どのようにすれば国際間、民族間の相互理解が可能かを考察する能力を身に付けることにある。このクラスではKAISEIパーソナリティのIn（国際性）とK（思いやり）を養う。

授業の概要

国際観光交流論の中心テーマは、アウトバンドとインバウンドである。明治以降の日本のインバウンドの歴史や観光政策から戦後の訪日外国人観光客の実態までを理解する。特に、新たな産業政策のひとつに組み込まれたインバウンド政策を具体的に検証していく。また、観光先進国のフランス、ハワイの観光を理解することで今後の日本の観光戦略を考える。

授業計画

- 1 ガイダンス
国際観光交流論で何を学修するのかを理解する
- 2 日本における国際観光政策
- 3 国際観光政策と訪日外国人観光客
- 4 ビジット・ジャパン・キャンペーンと実態
- 5 コンベンションと国際観光
- 6 海外マーケットから見る国際観光
- 7 国際観光と旅行業
- 8 観光産業(宿泊・運輸・観光地)と国際観光
- 9 インバウンド政策と法律
- 10 外客誘致機関と戦略
- 11 フランスの観光と歴史(コートダジュールの事例から)
- 12 ハワイの観光の歴史と現状
- 13 シンガポールとIR
- 14 まとめ(国際観光の意義や今後の課題)
- 15 総括試験と解説

授業の方法

PowerPointによる講義を中心に行う。適宜、グループディスカッションを行う予定。

準備学修

図書館で講読されている国際観光、ホテルレストラン、観光経済新聞等を閲覧しておくこと。

課題・評価方法、その他

課題30%
総括試験70%

欠席について

大学規定通り

テキスト

資料は適宜配布

参考図書

デービット・アトキンソン『新・観光立国論』東洋経済新報社
岡本伸之『観光学入門』有斐閣
北川宗忠『現代の観光事業』ミネルヴァ書房
イザベラバード『日本奥地紀行』平凡社
その他、講義で紹介

留意事項

講義から得た知識から幅広く学修を重ねることに期待する。

オフィスアワー

オフィスアワー指定日は研究室で実施します。

基幹科目〈観光〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
観光地理論			13840	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
釜須 久夫	必修	2	旅行会社勤務			

授業の到達目標

海外旅行地理の基礎と海外の国々の観光・歴史・宗教・文化に関する知識を学び、このクラスではKAISEIパーソナリティのA（自律）とIn（国際性）を養う。

授業の概要

海外の国々を、アジア、ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニア、中東、アフリカ等に分けて、世界の国、都市、地域、島、観光ポイントなどの必修知識を学習する。また同時に地図、写真、動画などのビジュアル資料から現地情報を学習する。

授業計画

- 1 「アジア」韓国・台湾・中国
- 2 「アジア」香港・マカオ・モンゴル・フィリピン
- 3 「アジア」ベトナム・ミャンマー・カンボジア・タイ
- 4 「アジア」マレーシア・シンガポール・インドネシア・インド・ネパール
- 5 「アジア」スリランカ・モルディブ・パキスタン・アフガニスタン・カザフスタン・ウズベキスタン・その他の国々
- 6 「ヨーロッパ」英国・アイルランド・ベルギー・オランダ
- 7 「ヨーロッパ」アイスランド・ノルウェー・スウェーデン・フィンランド・デンマーク・ドイツ
- 8 「ヨーロッパ」スイス・オーストリア・リヒテンシュタイン・フランス・モナコ
- 9 「ヨーロッパ」イタリア・バチカン市国・マルタ・スペイン・ポルトガル・ギリシャ
- 10 「ヨーロッパ」ポーランド・チェコ・ハンガリー・ブルガリア・ルーマニア・ロシア・その他の国々
- 11 「南北アメリカ」米国・カナダ
- 12 「南北アメリカ」メキシコ・キューバ・ペルー・ブラジル・アルゼンチン・その他の国々
- 13 「オセアニア」オーストラリア・ニュージーランド・グアム・フィジー・その他の国々
- 14 「中東・アフリカ」トルコ・イスラエル・アラブ首長国連邦・エジプト・南アフリカ・その他の国々
- 15 「総括」と試験

授業の方法

学習内容とリンクして、問題集や地図・写真・動画などのビジュアル資料を通して現地情報を学習する。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席は成績評価に反映する。

テキスト

『海外旅行実務 海外観光資源』JTB総合研究所
『海外観光地理 サブノート』JTB総合研究所

留意事項

必要に応じて、授業中に指示を行う。

基幹科目〈観光〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
ハワイ文化研究			13965	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
釜須 久夫	選択	2	旅行会社勤務			

授業の到達目標

ハワイの文化を研究する上で、文化を育んだハワイの歴史とその背景を学び、文化が伝わるプロセスと様々なハワイ特有の文化を学び理解をより深める。またハワイの精神である「アロハスピリット」を学ぶ。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）とIn（国際性）を養う。

授業の概要

授業のテーマに関連した講義の他に、ビジュアルやビデオなどを用いてハワイ文化を視覚的に学習する。また小テストや問題集などを取り入れて、ポイントとなる箇所を復習する。

授業計画

- 1 ハワイの歴史(1)ポリネシア文化圏と古代ハワイの信仰
- 2 ハワイの歴史(2)ハワイの信仰と神話
- 3 ハワイの歴史(3)ハワイ王朝の歴史
- 4 ハワイの歴史(4)フラの歴史 古典フラと現代フラ
- 5 ハワイの歴史(5)日本人移民の歴史
- 6 ハワイの歴史(6)戦後のハワイと観光ブーム・ハワイの音楽史
- 7 ハワイの各島を象徴する色と花
- 8 ハワイの言語 ハワイ語の基礎知識
- 9 ハワイの食文化と暮らしの習慣
- 10 ハワイの伝統工芸(1)レイの歴史とレイの種類
- 11 ハワイの伝統工芸(2)アロハシャツとウクレレなど
- 12 ハワイの伝統文化行事
- 13 ハワイの博物館とテーマパーク
- 14 ハワイの伝統文化の継承と自然保護
- 15 総括 & 試験

授業の方法

講義とビジュアルプレゼンテーションや小テストを中心とする。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席は成績評価に反映する。

テキスト

なし

留意事項

必要に応じて、授業中に指示を行う。

基幹科目〈観光〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
環境ツーリズム論			13430	II	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
酒井 新一郎	選択	2	旅行会社勤務			

授業の到達目標

国連は2017年「開発のための持続可能な観光の国際年」と定めた。「持続可能な観光」について学び、グローバル社会における観光と環境に関わる課題について考える。また世界的な認証である「サステイナブルツーリズム国際認証」について学び、自然環境と観光を融合した「エコツーリズム」、「グリーンツーリズム」などについての理解を深めることを目的とする。このクラスはKAISEIパーソナリティのI（知性）とIn（国際）を養う。

授業の概要

国連の「持続可能な開発目標（SDG's）」は2016年から2030年までの世界全体の開発目標（持続可能な開発のための2030アジェンダ）であり、この目標は観光においても例外ではない。2017年国連が「開発のための持続可能な観光の国際年」に指定するなど、現在「サステイナビリティー（持続可能性）」が世界共通のキーワードとなっている。世界の観光旅行人口は約13億人を超え、多くの人々が世界各地の観光地を訪れている。その中でいかに自然環境を守りつつ、観光を持続的に発展させていくのかを学ぶ。講義では主に「サステイナブルツーリズム」、「エコツーリズム」、「グリーンツーリズム」について学び、自然環境と共存し持続可能なツーリズムの仕組みについて事例を通して理解を深める。

授業計画

- 1 オリエンテーション
- 2 SDG'sと「持続可能な開発のための2030アジェンダ」について
- 3 サステイナブルツーリズムと国際認証について
- 4 サステイナブルツーリズムの事例と課題
- 5 エコツーリズムについて（エコツーリズム推進法）
- 6 エコツーリズムの事例と課題①（国内）
- 7 エコツーリズムの事例と課題②（海外）
- 8 グリーンツーリズムについて
- 9 グリーンツーリズムの事例と課題①（国内）
- 10 グリーンツーリズムの事例と課題②（海外）
- 11 国立公園の「ナショナルパーク」としてのブランド化
- 12 ジオパークとジオツーリズム
- 13 観光におけるシェアリングエコノミーについて
- 14 オーバーツーリズムについて

15 まとめ

授業の方法

講義とグループディスカッションを中心とする。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

課題はレポートの提出を求め、講義の中でフィードバックを行う。評価は平常点30%、課題レポート20%、定期試験50%

欠席について

大学の規定通り。

テキスト

随時プリントを配布する。

参考図書

『サステナブルツーリズム』 藤稿亜矢子著 晃洋書房
『SDG'sの実践』自治体・地域活性化編 村上周三他著 宣伝会議
『外国人が熱狂するクールな田舎の作り方』 山田拓 新潮新書
『楽しもう！エコツーリズム』 風見信昭著 秀明出版会
『MaaS モビリティ改革の先にある全産業のゲームチェンジ』 日高洋祐編著 日経BP社

留意事項

アクティブラーニングを中心とするので積極的な講義への取り組みを求める。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。